

セントヨゼフ女子学園高等学校に 活動用オリジナルヘルメットを贈呈

日本損害保険協会三重損保会（会長：藤山 高志 三井住友海上火災保険株式会社 三重支店長）では、三重県警察本部の協力のもと、セントヨゼフ女子学園高等学校に自転車ヘルメットを贈呈し、7月11日（金）に、同校で贈呈式が開催されました。

本取り組みは、三重県警察本部が県内に在学する高校生にセーフティ・バイシクルリーダーを委嘱し、模範的な自転車運転等を通じて自転車交通秩序の実現を図る活動をしている中、三重損保会としてもその活動や交通事故防止に貢献したいと考え、同会からセーフティ・バイシクルリーダーの活動用オリジナルヘルメットを贈呈しているものです。

当日は、三重県津警察署の高橋署長から「未来を担う若い世代を中心に、幅広い年齢層に対して自転車の安全利用や交通安全意識の浸透を図ることを目的として、セーフティ・バイシクルリーダーを委嘱させていただく。今後、同リーダーにはクラスメイトや地域の方々に対して、ヘルメット着用や交通ルールの順守などを働きかけていただきたい。」という挨拶があり、委嘱状の交付がありました。次に、藤山損保会長から同校の生徒7名に活動用オリジナルヘルメットの贈呈がありました。最後に、同リーダーに委嘱された1人であり、自転車競技「BMX フリースタイル・フラットランド」の大会で活躍する吉村さんによる試技披露もありました。

当支部では、今後も三重県警察ほか関係機関と連携し、交通事故防止活動を行ってまいります。



＜委嘱状の交付＞



＜藤山損保会長から活動用ヘルメットを贈呈＞



＜吉村さんによる BMX 試技披露＞



＜セーフティ・バイシクルリーダーを委嘱された7名（前列）
（後列左から）原田校長、高橋署長、藤山損保会長、津地区
交通安全協会林事務局長＞